

# 第9号

# 米代川水系流域治水ニュース

発行者：国土交通省 東北地方整備局 能代河川国道事務所  
 〒016-0121 能代市鹹渚字一本柳97-1 TEL 0185-70-1001 (代)  
<http://www.thr.mlit.go.jp/noshiro/> E-mail thr-noshiro01@mlit.go.jp

## 全国で増加する水災害

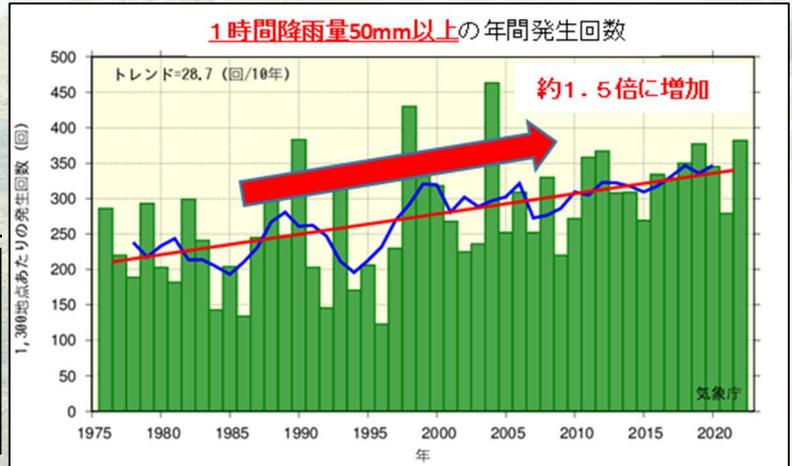
近年、1時間降雨量50mmを超える局地的豪雨の発生が増加し、気候変動による水害リスクが高まっています。気象庁の統計では、この40年ほどの間に、同規模の発生回数が約1.5倍に増加しており、昨年、県北地域でも複数回記録されました。

### 県北の令和4年8月豪雨での記録

鷹巣	1時間雨量	70.5mm	(観測史上1位)
八森	1時間雨量	72.5mm	(観測史上1位)
藤里	1時間雨量	68.0mm	(観測史上1位)
鹿角	1時間雨量	90.0mm	(観測史上2位)

### 1時間降雨量50mmとは？

天気予報では「非常に激しい雨」と表現され、滝のようにゴーゴーと降る雨のこと。傘は全く役に立たず、水しぶきで辺り一面が白っぽくなります。視界が悪く、車の運転は危険です。



## これまでの治水対策

これまでの治水対策は、河川管理者による河川区域を中心とした対策が主体でした。しかし、近年の気候変動による雨量増加により、河川区域だけの整備では流域全体を水害から守り切ることは困難となっています。

## 気候変動による水害から地域を守るために

# 流域治水

川の水の多くは、大地に降った雨が流れ込んだものです。そこで、河川管理者だけではなく、流域のあらゆる関係者(国、県、市町村、企業、住民等)が協同で取り組む治水対策。これが**流域治水**です。

大地に降った雨を一時的に溜め込むことにより、河川の増水を遅らせたり、浸水リスクの高い地域では個別の浸水対策や移転を行うことで被害の軽減を図ります。また、植林による山の保水力向上などの環境保全(グリーンインフラ)や、防災講話等で防災意識を高めたり、防災訓練に参加して個々が水害に備えることも流域治水の一つです。

水害リスクが高まる中、流域治水の推進、自分事化が求められています。



# 【米代川】流域治水の取り組み

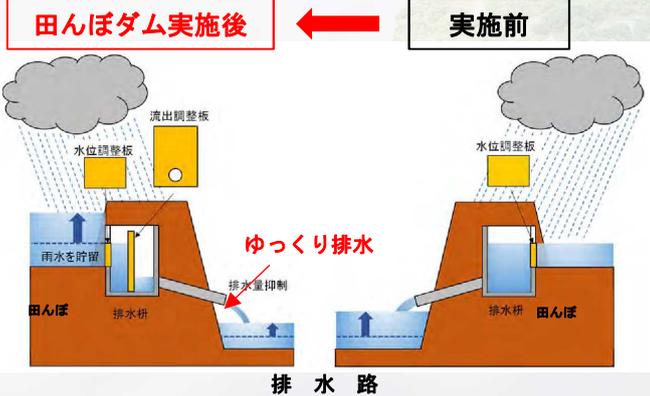
## 田んぼダム

降った雨を田んぼに一時貯留

田んぼダムは、田んぼの排水柵に、流量調整版を取り付けて排水量を抑制することで、田んぼに降った雨を一時的に貯留する取り組みです。

降った雨をゆっくり流すことにより、下流域に流れ込む雨水のピーク流量を抑える効果があり、多くの地域で実施されています。

### ●田んぼダムのイメージ



## まるごとまちごと ハザードマップ

洪水に対する危機意識の啓発と、洪水時のスムーズな避難行動に繋げるため、対象地域の建物や電柱等に洪水関連標識を設置。通常のハザードマップと合わせて確認することで、洪水に備えることができます。



・能代工業団地の例

## 出水時の対応が表彰されました。令和4年8月出水

水防功労者国土大臣表彰

【大館市消防団】は昨年8月の出水時、延べ226名が出動。水防活動や避難誘導などにより、住民の安全確保と被害軽減に貢献したことが評価されました。



優良自主防災組織県知事表彰

【北秋田市伊勢町自治会】は自主防災組織として、自主的に避難所を開設。避難の呼びかけや炊き出しの実施により、地域の安全確保に貢献したことが評価されました。

## 洪水危険度分布表示・システムの一体的表示

～川の洪水危険度を示す2つのシステムが1つにまとまりました～

中小河川の危険度が見える【洪水キキクル】上で、大河川の詳細な危険位置が見える【水害リスクライン】の情報が一体的に表示されるようになりました。

### 水害リスクライン



大河川の詳細な位置ごとの危険度を伝える

**6時間先まで予測**

洪水キキクルで中小河川の危険度と、大河川の危険位置が1画面で確認できるようになりました！【右図】ただし洪水キキクルは3時間先までの予測になるので、洪水注意報や警報が出ている時は6時間先まで予測できる水害リスクラインも活用し、有事に備えましょう。



### 洪水キキクル



中小河川の危険度を伝える  
3時間先まで予測



※あらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる治水対策、「流域治水」の取り組みが広がっています  
詳しくは、右記のURL(QRコード)より確認できます。

<http://www.thr.mlit.go.jp/noshiro/kasen/ryuukichisui/ryuukichisui.htm>

